



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年10月13日

上場会社名 株式会社ありがとうサービス 上場取引所 東  
 コード番号 3177 URL http://www.arigatou-s.com  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)井本 雅之  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)平川 俊之 (TEL) (0898)23-2243  
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の業績（平成27年3月1日～平成27年8月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	4,097	9.7	267	22.6	268	24.3	154	37.4
27年2月期第2四半期	3,733	2.3	217	9.9	216	13.6	112	22.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	163.35	—
27年2月期第2四半期	118.25	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年2月期第2四半期	3,942	—	1,584	—	40.2
27年2月期	3,839	—	1,504	—	39.2

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 1,584百万円 27年2月期 1,504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	82.00	82.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	88.00	88.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,100	6.1	511	3.1	496	0.7	260	1.0	276.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年2月期2Q	953,600株	27年2月期	953,600株
28年2月期2Q	8,882株	27年2月期	8,799株
28年2月期2Q	944,795株	27年2月期2Q	949,808株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、追加金融緩和に伴う円安・株高、緊急経済対策などの財政支援、さらには昨秋からの原油安の恩恵を受け、当年度においても緩やかな景気回復基調が続いております。特に、設備投資と個人消費については、企業収益および雇用・所得環境の良化に伴い底堅く推移しております。しかしながら、中国経済の減速等の海外経済の影響の懸念などにより、先行き不透明な状況は今なお継続しております。

こうした状況のもとで、当社におきましては、人材の育成と既存店のさらなる強化、さらには内部体制の充実に努めてまいりました。

当第2四半期累計期間は、3月にモスバーガー高知大橋通り店（高知県）を閉店しました。6月にはハードオフ/オフハウス大洲店、ブックオフ/ホビーオフ東大洲店（愛媛県）がブックオフ/ハードオフ/ホビーオフ大洲店、オフハウス東大洲店としてリニューアルオープンしたほか、一番亭西条店（愛媛県）を閉店しました。また、7月にはマンマ・グラツェ西条店（愛媛県）を出店し、ハードオフ/オフハウスライフガーデン鳥栖店（佐賀県）を計画通り出店しました。

この結果、当社の店舗数はリユース事業82店舗、フードサービス事業33店舗、合計115店舗となりました。

当第2四半期累計期間の業績は、売上高4,097,687千円（対前年同四半期比9.7%増）、営業利益267,249千円（同22.6%増）、経常利益268,457千円（同24.3%増）、四半期純利益154,335千円（同37.4%増）と増収増益となりました。

セグメントごとの業績を示すと次のとおりであります。

## (リユース事業)

当第2四半期累計期間におきましては、物流センター3拠点を本格的に稼働させ、これまで廃棄物として処分していた商品を、ニーズのある東南アジアへの輸出販売を行える体制を確立することで、これまで以上に積極的な買取りを行い、どんなものでも買い取って引き取ってもらえるという店舗の信用力、ブランド力の向上及び良品在庫の増大に努めてまいりました。また、買い取った商品を即座に売場に出して機会損失を減らすとともに、お客様目線の売場づくりを進め、売上高の増加に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,842,068千円（対前年同四半期比12.2%増）、セグメント利益（営業利益）340,103千円（同19.1%増）となりました。

## (フードサービス事業)

当第2四半期累計期間におきましては、フランチャイジー事業においては本部主導の販売促進活動の理解と徹底、オリジナルブランド事業においては原材料費の高騰に対応すべく仕入先の見直しや原価率の管理に努め、その影響を最小限に食い止める努力を重ねてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高1,255,619千円（対前年同四半期比4.5%増）、セグメント利益（営業利益）81,584千円（同10.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて3,874千円増加し、1,776,560千円となりました。現金及び預金が87,956千円減少したものの、売掛金が30,978千円増加、商品が46,578千円増加、その他流動資産が14,834千円増加したことが主な要因であります。

固定資産は、前事業年度末に比べて99,564千円増加し、2,163,479千円となりました。有形固定資産が55,273千円増加、投資その他の資産が45,101千円増加したことが主な要因であります。

繰延資産は、前事業年度末に比べて918千円減少し、2,186千円となりました。特に大きな変動はありません。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて102,520千円増加し、3,942,226千円となりました。

## (負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて78,637円減少し、954,549千円となりました。買掛金が41,667千円増加したものの、1年内償還予定の社債が24,000千円減少、その他流動負債が84,465千円減少したことが主な要因であります。

固定負債は、前事業年度末に比べて101,249千円増加し1,403,281千円となりました。社債が33,000千円減少した

ものの、長期借入金が117,287千円増加したことが主な要因であります。

この結果、負債は、前事業年度末に比べて22,612千円増加し、2,357,830千円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて79,908千円増加し、1,584,395千円となりました。利益剰余金が76,861千円増加したことが主な要因であります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ79,127千円減少し、532,461千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、140,306千円(前年同四半期は得られた資金285,619千円)となりました。税引前四半期純利益が37,523千円増加したものの、売上債権の増減額が22,978千円増加、未払金の増減額が57,548千円減少、未払消費税等の増減額が111,966千円減少したことが主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、180,819千円(前年同四半期は使用した資金112,824千円)となりました。有形固定資産の取得による支出が29,068千円増加、長期前払費用の取得による支出が23,858千円増加、差入保証金の差入による支出が28,008千円増加したことが主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は38,614千円(前年同四半期は使用した資金178,130千円)となりました。長期借入れによる収入が120,000千円増加、長期借入金の返済による支出が169,562千円減少、社債の発行による収入が197,982千円減少したことが主な要因であります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月14日に公表しました「平成27年2月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の数値に変更はありません。また、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	658,402	570,446
売掛金	53,467	84,445
商品	900,205	946,784
貯蔵品	4,132	4,053
その他	157,315	172,149
貸倒引当金	△837	△1,319
流動資産合計	1,772,686	1,776,560
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	988,016	999,573
その他(純額)	354,198	397,914
有形固定資産合計	1,342,215	1,397,488
無形固定資産	11,583	10,774
投資その他の資産		
差入保証金	443,948	469,951
その他	271,109	290,449
貸倒引当金	△4,942	△5,184
投資その他の資産合計	710,115	755,216
固定資産合計	2,063,914	2,163,479
繰延資産	3,105	2,186
資産合計	3,839,706	3,942,226
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	85,509	127,176
1年内返済予定の長期借入金	260,744	278,615
1年内償還予定の社債	120,000	96,000
未払法人税等	150,455	120,746
その他	416,477	332,011
流動負債合計	1,033,186	954,549
固定負債		
社債	281,000	248,000
長期借入金	402,206	519,493
退職給付引当金	2,280	2,674
役員退職慰労引当金	44,458	50,520
資産除去債務	378,030	384,843
その他	194,056	197,749
固定負債合計	1,302,031	1,403,281
負債合計	2,335,218	2,357,830

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,507	547,507
資本剰余金	63,507	63,507
利益剰余金	900,616	977,477
自己株式	△17,041	△17,269
株主資本合計	1,494,589	1,571,223
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,898	13,172
評価・換算差額等合計	9,898	13,172
純資産合計	1,504,487	1,584,395
負債純資産合計	3,839,706	3,942,226

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	3,733,851	4,097,687
売上原価	1,230,247	1,369,953
売上総利益	2,503,604	2,727,734
販売費及び一般管理費	2,285,671	2,460,484
営業利益	217,933	267,249
営業外収益		
受取利息	462	417
受取配当金	599	663
不動産賃貸料	15,209	14,782
その他	13,999	13,316
営業外収益合計	30,271	29,180
営業外費用		
支払利息	10,102	8,199
社債利息	2,606	1,764
不動産賃貸原価	16,936	16,867
その他	2,497	1,141
営業外費用合計	32,143	27,972
経常利益	216,061	268,457
特別利益		
固定資産売却益	91	-
特別利益合計	91	-
特別損失		
固定資産売却損	582	-
固定資産除却損	1,482	5,632
減損損失	-	11,212
特別損失合計	2,065	16,845
税引前四半期純利益	214,088	251,612
法人税、住民税及び事業税	104,530	99,489
法人税等調整額	△2,752	△2,212
法人税等合計	101,777	97,277
四半期純利益	112,310	154,335



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	214,088	251,612
減価償却費	127,795	122,815
のれん償却額	2,547	-
長期前払費用償却額	8,139	10,403
減損損失	-	11,212
貸倒引当金の増減額(△は減少)	228	724
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,176	394
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,262	6,062
受取利息及び受取配当金	△1,062	△1,081
支払利息	10,102	8,199
社債利息	2,606	1,764
社債発行費償却	2,074	918
有形固定資産売却損益(△は益)	490	-
固定資産除却損	1,482	5,632
売上債権の増減額(△は増加)	△7,999	△30,978
たな卸資産の増減額(△は増加)	△36,078	△46,499
仕入債務の増減額(△は減少)	35,849	41,667
未払金の増減額(△は減少)	36,073	△21,474
未払消費税等の増減額(△は減少)	26,555	△85,411
リース資産減損勘定の取崩額	△2,354	△2,794
その他	2,488	5,215
小計	428,468	278,382
利息及び配当金の受取額	1,061	1,081
利息の支払額	△11,985	△10,079
法人税等の支払額	△131,924	△129,077
営業活動によるキャッシュ・フロー	285,619	140,306
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△43,113	△42,521
定期預金の払戻による収入	41,306	51,350
有形固定資産の取得による支出	△98,876	△127,944
有形固定資産の売却による収入	552	-
資産除去債務の履行による支出	-	△1,170
無形固定資産の取得による支出	△541	△267
投資有価証券の取得による支出	△1,213	△948
長期前払費用の取得による支出	△10,830	△34,688
差入保証金の差入による支出	△5,377	△33,385
差入保証金の回収による収入	3,426	7,382
預り保証金の返還による支出	-	△500
貸付金の回収による収入	1,842	1,874
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112,824	△180,819

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	180,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△334,404	△164,842
社債の発行による収入	197,982	-
社債の償還による支出	△91,750	△57,000
リース債務の返済による支出	△42,020	△39,176
自己株式の取得による支出	△16,490	△227
配当金の支払額	△71,449	△77,369
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178,130	△38,614
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,335	△79,127
現金及び現金同等物の期首残高	612,044	611,588
現金及び現金同等物の四半期末残高	606,709	532,461

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月29日 定時株主総会	普通株式	71,502	75	平成26年2月28日	平成26年5月30日	利益剰余金

## 2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月28日 定時株主総会	普通株式	77,473	82	平成27年2月28日	平成27年5月29日	利益剰余金

## 2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	リユース事業	フードサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,532,459	1,201,391	3,733,851	—	3,733,851
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,532,459	1,201,391	3,733,851	—	3,733,851
セグメント利益	285,453	73,830	359,283	△141,349	217,933

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	リユース事業	フードサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,842,068	1,255,619	4,097,687	—	4,097,687
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,842,068	1,255,619	4,097,687	—	4,097,687
セグメント利益	340,103	81,584	421,687	△154,437	267,249

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期累計期間において「リユース事業」セグメントにおいて1,276千円および「フードサービス事業」セグメントにおいて9,936千円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。